

# 朝来市【兵庫県】 歴史文化基本構想を活用した 観光拠点づくり事業

関西地方



■協議会メンバー…  
和田山町観光協会／生野町観光協会／いくの地域自治協議会／奥銀谷地域自治協議会／大蔵地域自治協議会／竹田地域自治協議会／梁瀬地域自治協議会

■構想策定年度…平成二八年三月  
■補助事業期間…平成二九年九月一日～平成三〇年三月二五日

## 歴史文化基本構想の概要

朝来市は、山陰道・播但道・古代官道の結節点、すなわち「但馬の南玄関」である。古代から朝鮮半島との独自交流によって発展し、中近世には全国屈指の銀山を擁する生野が天下人の財源を支え、周辺に強固な城郭が作られた。明治には官営鉱山として日本の近代化に大きく貢献した。人・モノ・文化交流の中心地として発展した地域の個性を、観光振興、まちづくりに活かしていく。

### 観光拠点形成の方向性

- ・歴史文化遺産を地域の誇りとして後世に残す
- ・朝来市の強みを観光資源として市内周遊観光ルートを創造する

### 観光に関する課題

- ・スポット的に観光客が訪れているが市内周遊の誘導ができていない
- ・市内一括の情報発信ができていない
- ・幹線道路からの看板設置が不十分

## 事業概要

### 朝来市内の中世山城PR冊子の作成

竹田城跡へ来訪する城郭好きの観光客を、朝来市内に存在する他の山城へ誘導するため、個性的で多様な山城群の集中する大蔵地区の中世山城PR冊子及びパンフレットを作成した。市内外の観光施設や道の駅、竹田城跡関連施設に配布し、観光客の誘致を図った。

■KPI 大蔵地区中世山城への観光客数：  
0人(H28)→5,000人(H31)

情報  
発信



### 朝来市周遊歴史文化遺産マップの作成

今まで知られていない市内歴史文化遺産を一堂に紹介し、観光客が自由に市内を周遊してもらうことを目的として、朝来市周遊歴史文化遺産マップを作成した。市内外の観光施設、道の駅などに配布することで、市外からの観光客の手に渡るようにした。

■KPI 朝来市への観光客数：  
2,293,496人(H28)→2,400,000人(H31)

情報  
発信



### 中世山城普及講演会の開催

観光客を迎え入れるためには、まず地域住民が地域の歴史文化遺産を知り、愛着を持つことが必要であるとの考えから、竹田城跡と大蔵地区の山城との関連性、但馬の山城の魅力を語る講演会を開催した。地元住民だけでなく広く周知を行うことで、但馬域内の聴講者を得た。

■KPI 大蔵地区歴史文化遺産を活用したイベント：  
1回(H28)→10回(H31)

普及  
啓発



### 朝来市大蔵地区の山城観光環境の整備

これまで見学、観光することができなかった大蔵地区の山城へ観光客を呼び込み、市内周遊を図るため、大蔵地区の山城案内看板を設置した。各山城に設置する看板デザインと、大蔵の山城パンフレットの図柄を統一し、復元イラストを付けることで興味が持ちやすくなるよう配慮した。

■KPI 市内の中世山城を活用した連携イベント：  
0回(H28)→2回(H31)

活用  
整備



## 成果

### ① 地域住民の関心が高まった

地元の歴史文化遺産に関心を持ち、歴史を学んだり自発的に地域の歴史文化遺産を調査する動きが市内全域で出来つつある。郷土愛やおもてなしの心の醸成が、観光客誘致に効果を発揮すると期待される。

### ② 観光客の周遊が増加傾向

即効的な成果は出ていないが、マップを手にした観光客や今まで知られていなかった歴史文化遺産への来訪者が徐々に増加してきている。